

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会

第 79 回廃止措置分科会 (R3SC)

」

1. 日時 2022 年 11 月 8 日 (火) 10:00-12:00

2. 場所 : Web 会議 (Webex)

3. 出席者

出席者 : 岡本主査, 松原福主査, 田中幹事, 青井, 生駒, 石原, 工藤, 黒川, 小山, 佐藤, 田村, 仲田, 中村, 西村, 深田, 見上, 目黒, 山本, 平井

(欠席 : 中村, 佐藤) (敬称略)

4. 配布資料

R3C-79-0 議事次第

R3C-79-2 第 78 回廃止措置分科会 (R3SC) 議事録 (案)

R3SC-79-3-1 “実用発電用原子炉施設の廃止措置における耐震安全について—グレーデッドアプローチの実現に向けて—” (技術レポート) 着手承認の提案書 (案)

R3SC-79-3-2 同上 検討スケジュール案 (参考資料)

R3SC-79-3-3 同上 検討作業会の構成案 (参考資料)

R3SC-79-4-1 5 ヶ年計画 (案) (取り纏め版)

R3SC-79-5-1 「廃止措置対象施設特性調査指針 : 20XX (案)」の審議

R3SC-79-6-1 「廃止措置作業立案指針 : 20XX (案)」の審議

R3SC-79-7-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX” 標準原案に関する標準委員会決議結果について

R3SC-79-7-2 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX” 完本版

R3SC-79-7-3 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX” 新旧対比表

R3SC-79-7-4 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準 : 20XX” 誤字脱字チェックコメント対応表

5. 議事

第 79 回廃止措置分科会が開催され、耐震安全技術レポートの着手承認、学会標準策定 5 年計画、廃止措置対象施設特性調査指針 : 20XX (案) 及び廃止措置作業立案指針 : 20XX (案) について審議された。また、安全評価基準の制定に関する進捗状況について報告された。

(1) 出席者確認

開始時点で20/21名の出席により分科会成立。(1名30分遅刻で参加, 22名全員参加)

(2) 人事案件

なし。

(3) 前回議事録確認

第78回廃止措置分科会議事録が承認された。

(4) 【審議】耐震安全技術レポートの着手承認について [R3SC-79-3-1~R3SC-79-3-3]

① 資料に基づいて審議され、出されたコメントに対応して提案資料を改訂し、次回分科会で

再度審議することとなった。

- ② 来年度は、資料で提案している作業会設置に代えて、当分科会で技術レポートの審議を行う方針となった（提案資料への反映要）。なお、来年度初めに分科会に素案提示できるよう準備を行う。
 - ③ 主なコメントは次のとおり。
 - ・「耐震安全の考え方」標準の改訂でなく、技術レポートとして作成を行う理由を明確にすること。
 - ・耐震クラスの「引き下げ」ではなく「適正化」であることを踏まえ、サブタイトル、各所の表現を見直すこと。
 - ・（提案資料への反映事項ではないが）従事者被ばく、研開炉等への適用、労働安全等についても、技術レポート内に記載するよう検討すること。
 - ④ 提案資料に対するコメンを募集することとなった。事務局から様式を送付するので、記入のうえ、事務局あて返信いただくこととなった。
- (5) 【審議】学会標準策定5か年計画について [R3SC-79-4-1]
- ① 資料について審議され、赤枠囲いを消去することを条件として内容が承認された。
 - ② 事務局より専門部会にあげることとなった。
- (6) 【報告】「廃止措置対象施設特性調査指針：20XX（案）」及び「廃止措置作業立案指針：20XX（案）」の審議再開について [R3SC-79-5-1、R3SC-79-6-1]
- ① 基本安全基準等の制定手続き等のため中断されていた、これら指針の審議を再開することとなった。
 - ② 再開に当たって意見募集を行うこととなり、事務局から、以前に出された意見一覧とともに様式が送付されることとなった。
- (7) 【報告】安全評価基準」の制定に関する進捗状況について [R3SC-79-6-1～R3SC-79-6-2]
- ① 標準委員会（9/14）にて、誤字脱字のチェックを行うこと、及び引用文献転載許諾認可に60日間の公衆審査に移行することが決議されたこと、及び転載許諾手続きが進捗し、年度内に公衆審査を終え、制定できる見込みでできたことが報告された。
 - ② 転載許諾の条件である標準原案内に追記する事項及び誤字脱字チェック結果への対応の内容が報告された。
 - ③ 分科会で、②の内容が適切であることを確認し、学会事務局に対して、標準委員会3役をはじめ関係箇所への説明及び公衆審査への移行を依頼することを、挙手をもって決議した。
- (8) その他
- ① 2023年春の学会で、廃止措置でのグレーデッドアプローチについて企画セッションを開催することとなったことが報告された。
 - ② 今後のスケジュール
 - 次回(第80回) 廃止措置分科会は。12/2(金) 13:00～15:00

以上